

国際社会と日本の地位・役割

1 日本と国際社会

(1) 日本の戦後外交のあゆみ

1945	① ポツダム宣言 受諾
1951	② サンフランシスコ 平和条約調印…独立回復 → ③ 日米安全保障 条約調印…アメリカ軍の駐留
1956	④ 日ソ共同宣言 …ソ連との国交回復 → ⑤ 国際連合 に加盟
1960	⑥ 日米安全保障 条約改定
1965	⑦ 日韓基本条約 調印…韓国との国交正常化
1971	⑧ 沖繩返還 協定調印
1972	⑨ 日中共同声明 調印…中国との国交正常化
1978	⑩ 日中平和友好条約 締結
1992	国連 PKO への自衛隊派遣
2001	テロ対策特別措置法成立
2002	日朝首脳会議…⑪ 日朝ヒョムヤン 宣言
2003	有事関連三法, イラク復興支援法成立
2004	自衛隊をイラクに派遣

SUPPORT

②米ソ間の冷戦が激化しており、西側陣営との講和だったので片面講和とよばれた。

④ソ連と国交が正常化したので、日本の加盟にも拒否権を使わなかった。

⑪当時の小泉純一郎首相と金正日総書記とが会談した。核問題や拉致問題など課題も多く、その後進展はしていない。

(2) 日本の領土問題

- ・対アメリカ…1968年小笠原諸島復帰
1972年③**沖繩返還**協定の発効→沖繩の日本復帰
- ・対ロシア(ソ連)…⑫**北方領土**問題が未解決

STEP 現在、対ロシア以外に近隣諸国との間で生じている領土に関する問題は何か。

⑬ **竹島**に対して韓国が領有権を主張、尖閣諸島問題に対しては中国、台湾が領有権を主張している。

2 日本の役割

- ・単に戦争がない状態(⑭**消極的**平和)ではなく、人権が尊重、正義や公正が確保される社会の実現(⑮**積極的**平和)
→そのためには「⑯**人間の安全保障**」の視点が不可欠

3 歴史の反省と新しい協力関係をめざして

- ・第二次世界大戦中の未解決の問題→被害を受けた個人への補償問題
- ・「東アジア共同体」構想…EUやアメリカに対抗
- ・小日本主義…⑰**石橋湛山**が戦時中に主張
→東洋の国々や世界の弱小国を日本の「道徳的支持者」に
- ・「武力によらない平和」の実現が求められる

NOTE

1951年の日米安全保障条約は米軍を日本に駐留させる(対ソ連のため)のものである。

↓
日本人に受け入れられてからの日本が独立と回復させる条約と同時に結ぶ。
この「サンフランシスコ平和条約」

1956年日ソ共同宣言(ソ連との戦争と終結に関する条約)
当時、北方領土の返還、危丹と日本に返還すると約束しており、この「現在」の北方領土問題の原因とされている。

1965年日韓基本条約(日韓両国の外交樹立 日本から経済援助の提供)
↓
従って、この条約によって賠償は終結し、約束された領土問題も解決し、現在まで成立

1972年日中共同声明 - 中国との国交正常化(証言に日本入りの)

2002年日朝ヒョムヤン宣言 - 日本 - 北朝鮮(過去の戦争におけるお詫言) 北朝鮮 - 日本(拉致問題)に対して今後断り切

TRY

Q 教科書 p.175 図4「日本の果たす役割」の世論調査を見て、日本の果たす役割としてあなたの考えに近いものはどれだろうか。グループになってお互いの意見を交換しよう。また、そのような役割は具体的にどのようなことをしていくのか考えてみよう。

日本は唯一の被爆国であり「核兵器」世界の実現を許さず、平和に世界平和への貢献を続けることの大きな役割を考へる

地球環境保護や技術発展途上国に提供できる